

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

迎春

本年も

どうぞ宜しく

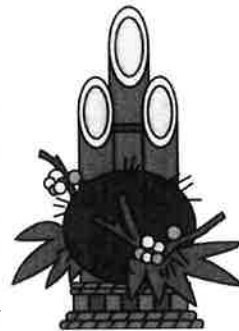
お願いいたします

旧年中はみぞくちの活動に多くのご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本年も職員一同利用者の

皆さんに有意義な活動を送って頂けるよう精進してまいります。どうぞよろしく
お願いいたします。

も、ともすればコロナの話
題になりがちですが、できるだけ日々の楽しい話題をお茶の間にお届けしたいと思います。



年末12月の様子をご紹介

変装・カラオケ・クリスマス

12月16日 みぞくちクリスマス会開催。今年も事業所独自のみんなで作るクリスマス会。皆さんの希望もありメインはカラオケ。巷ではカラオケ自粛の雰囲気もあつたが、利用者の皆さんが楽しめるものをするのが一番。コロナ感染防止の為、マイクにはお手製の飛沫防止ガードを付け、1回ごとにマイクの消毒、歌い手はマスク着用の上、換気

扇の真下で歌った。誰かが感染しているわけではないが、念のため出来る事は何でもやる。
一方、観客席の利用者さんが飽きないように、職員は総出で変装。今年の変装メインは、アニメ鬼滅の刃。皆さんご存じだろうか？「竈門炭治郎」役は職員小川さん、「我妻善逸」役は職員横田さん、所長はなぜか「竈門禰豆子」役に女装。

アニメさながらの登場人物になった。そんな中、森田サビ管は角刈りのかつらを被つての登場、普段が寒いこともあり「頭が温かい」を連呼。
利用者の皆さんの反応は
いま一つ。よく知らない人が多いようだった。
カラオケ大会の後はクリスマスケーキの会食。そして帰る際には、調理員さんが変装したサンタからク

ちよつと一息

リスマスのプレゼントを受け取った。
ここでちよつと内輪話。
利用者お一人お一人へのプレゼントグッズの購入。これにはなかなかの間がかかっている。プレゼント袋を開けた時、にっこりほっこりした笑顔を想像しながら

らプレゼントを探す。延べ1日以上の時間を費やしたようだ。
このプレゼント、利用者の皆さんはご家庭で開封されたはず、喜んでもらえたでしょうか？どんな様子だったか機会があればお知らせください。

もともと正月行事とは、年神様というその年の神様を迎え、祀るために行われてきたもの。農耕民族だった日本人にとって、五穀豊穡の神である年神様は大事な神様として考えられていた。また、生きる力や幸せをもたらしてくれるといわ

新春に咲く梅は、1年の始まりにふさわしい花として飾られ、門松には紅梅と白梅の両方を飾るのが一般的。玄関先にしめ縄を張りめぐらせているのと同じ意味で、神様を祀る神聖な場所に不浄なものを持ちこませないためとされている。しめ飾りはしめ縄に縁起物を飾り付けたもの。代表的なものに、清浄な心を表す裏白(うらじろ)、神の力が宿る紙とされている御幣(ごへい)、その家系が長く続くことを願うゆずり葉などがある。(ネット調べ)
みぞくちでも12月の余暇活動では、各々個性的な正月飾りを制作した。ご家庭で飾って頂いたかな？